# 進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
10月号
令和３年 10 月 19 日発行

　涼しさを感じる日が増えてきて、すっかり秋らしくなりました。学校は感染症対策をしながら学習を進めています。さて、今回の進路だよりでは、夏休みの時期に実施した事業所見学会、職業相談会、能力開発校秦野キャンバス見学等の様子を報告いたします！！

## 職業相談会の様子

８月４日（水）、ハローワーク川崎にて高等部３年生対象の職業相談会が開催されました。 将来就労する上で、仕事探しや困ったことを相談する場所としてハローワークを活用できるよう、実際に求人票検索機を使って求人票を取り寄せたり、窓口の方と一人ずつ面談を行い、現時点での希望職種や就業時間帯、給与などについて自分の希望を伝えたりする体験をしました。体験前の講話では、「健康管理も自己責任」「卒業して１年以内に、４人のうち１人は仕事を辞めてしまう」「学校を卒業したら勉強はおしまいではなく、日々学ぶことが大切」といった、なかなか厳しい内容もありましたが、働くのが辛くなったときに、”あの先輩のようになりたい！”とか”これが少しでもできるようになりたい！”といった「なるべく身近でちょっとした目標」を立て、それに向かって頑張ることで、諦めず働き続けられている方も多いというお話も伺いました。
　卒業後は、生活リズムも環境も大きく変わる方が多いと思います。自分で工夫しながら日々を楽しむ練習を、少しずつできると良いのかもしれません。

## 能力開発校秦野キャンバス見学

『おはようございます』とグラウンドの清掃をしていた入校生の方々の気持ちのいいご挨拶から始まり、８月５日（木）に神奈川能力開発センターとキャンバス秦野（寮）の見学が実施されました。“誰一人としてとり残さない社会”を目指して職業のサポートをしたいという願いから開校され、35 年経つ施設となります。職業訓練では、訓練の中で自分自身の能力や適性を知り、社会性や職業性等の向上、様々な分野の資格取得を目指していく中で、働くことの厳しさと喜びを得ることを大切にしているとのことでした。寮生活では、各々の部屋や共有スペースの掃除、洗濯等身の回りのことを自分で行ったり金銭管理をしたりする経験を経て、自身で生活する習慣を身につけながら日々過ごしているそうです。見学を通じて、働くうえでの土台となる健康管理や日常生活管理スキル、対人スキル等を在校中から身につけていきたいと改めて感じました。

## 事業所見学会

### 地域活動ホーム『くさぶえ』

　７月 28 日（水）、９名の教員でつづき地域活動ホームくさぶえの見学に行ってきました。センター北駅からのアクセスはよく、通いやすいであろう場所です。
　活動内容は多岐にわたり、軽作業や製菓作業など、利用者さんの特性に配慮しながら活動を行っていました。特に軽作業の一つであるさをり織りでは、作業を通してできた布をボランティアの方が商品化しているとのことで、地域とのつながりを感じることができました。
　また、一時ケアやショートステイといった事業もあり、実際に使用しているお部屋や活動場所も見学させていただきました。施設はとても整っていて過ごしやすそうでした。

### 『わたげ』

　８月３日（火）午前午後と２回に分けて４名ずつの教員が見学をさせていただきました。社会福祉法人大樹の昨年度開所したばかりの生活介護の事業所で、鶴見区江ヶ崎にあります。２階建ての建物で、利用者も今のところまだ４名だったのでとても広く感じました。昨年度鶴見養護を卒業した 38 期生のみが利用しています。今後少しずつ新規利用者を増やしたり、法人の別の事業所の利用者が移動したりしていく予定だそうです。私たちが見学したときは、午前はクッション材づくり、午後は玄関前のプランターの花を摘む作業をしており、押し花で加工品をつくるとのことでした。それぞれの利用者の特性に合わせてゆったり日中活動を行っている様子でした。

## 保護者企業見学

昨年実施できなかった保護者企業見学を夏休み中に行いました。伊藤忠ユニダスは、コロナ禍での見学だった為、少人数のグループに分かれての見学となりました。クリーニング業務では、効率よく工程が組まれているのに驚いていたり、クリーニングの場所なのに涼しいとの声が上がったりしました。印刷業務では、いつも目にすることのない大型の製本機を見ることが出来ました。東芝ウィズさんの見学は初めてリモートで実施しました。当日は通信状況が不安定で音声が途切れたり、スライドが見づらかったりする等ご迷惑をおかけしました。見学の中では会社説明に加えて実際に働いている方の話も聞くことができました。採用までの流れを話してくれたスタッフの方もいました。貴重な話を聞くことができたと思います。。次回リモートで実施する際には、今回の反省点を生かして取り組もうと思います。今回抽選で外れてしまった方はご希望に添えず申し訳ありませんでした。また次の機会に是非お申込みください。暑い中参加してくださった皆様ありがとうございました。

## 事業所ハンドブック変更点

**〇新設事業所　さくらのこより**
住所：横浜市都筑区早淵３丁目４７－２
活動内容：健康プログラム、摂食機能訓練、口腔ケア、創作活動、自立活動、食のサポートなど

**〇住所変更事業所【ビル名の変更】ワークスみなと**
住所：横浜市神奈川区反町１－５
旧　加賀・駒井ビル2F→新　反町マンション２０３

**〇名称変更事業所【名称と電話番号の変更】 多機能型事業所　サムズアップ （旧 ちいさな種）**
電話番号：０４５－５７７－０７８６

**〇事業所形態変更【就労継続支援Ｂ型→生活介護】 キッチンたいむ（生活介護）**
住所：横浜市神奈川区反町 2-16-1　トーアビル 401
活動内容：仕出し弁当づくり、施設の夕食総菜づくり、パン・ケーキづくり、ビル清掃

## ☺😐☺☹☺　進路のつぶやき「やってみれば？」　☺☹☺😐☺

皆さん、夏の東京パラリンピックをご覧になりましたか？パラアスリートの姿に感動した、という方も多いと思います。陸上・砲丸投げでメダルを獲得した、某国の低身長症の選手がインタビューに答えているのを、テレビで観ました。「親からもらった一番大切な言葉は？」という質問に対し、選手の答えは「**『ねえ、やってみれば？』**です。」というものでした。

私たちは、子どもたちが「チャレンジ」する機会をつくってあげているでしょうか。「やらせるのがかわいそうなのではなく、やらせないのがかわいそう」「できるかな？できるかも！やってみよう！」といった言葉を、企業や福祉事業所の方からも本当によくいただきます。ちょっと考えてみると、人生はチャレンジの連続です。初めて口にする食べ物、初めて行くお店、初めて手に取るゲーム、初めて出合う人などなど、毎日は「初めて」で溢れていて、私たちは大小様々なチャレンジを繰り返しています。チャレンジすることは、よりよく生きていく、豊かな生活を送るために必要なことなのです。

また、「チャレンジ」は色々なことに繋がっていきます。達成感や意欲等だけでなく、仮にうまくいかなかったとしても、向き合う勇気や立ち直るたくましさ、いい意味での妥協や気持ちの切り替え等、無駄なことは一つもありません。チャレンジするための支援や工夫も必要になるかもしれませんが、その話はまたあらためて…。とにかく、気持ちを前に向けて、「やってみましょう！」。